

## コバネアオイトトンボ

*Lestes japonicus*

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧 I B類(EN)

### 種の概要

腹長26～33mm、後翅長18～22mm程度。未熟個体はややくすんだ橙色をしているが、成熟した♂は複眼が青色で胸部の地色は水色、♀は胸部の地色が黄白色から淡緑色となる。平地から丘陵地の、産卵基質との良好な池沼に生息することが多い。成虫は6月～11月に見られる。



写真提供：青木典司

### 国内分布

本州、四国、九州

### 県内分布記録

神戸市、姫路市、洲本市、加古川市、西脇市、宝塚市、高砂市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、加東市、たつの市、猪名川町、新温泉町

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

### 特記事項

この10年間で、埋め立てやメガソーラー建設などによって生息地の消失が進んだ。また残っていた池沼では、明らかな環境悪化が見られて姿を消したり、場所によっては見かけの環境がさほど変化がないにもかかわらず一気に姿を消した。現在知られている生息場所は非常にわずかである。そこでも個体数は極端に少なく、腹部の曲がった奇形の個体が見られるなど、遺伝的多様性の低下がうかがえる。県内絶滅の可能性が大きく高まっている。

### 保護上の留意点

集水域に殺虫剤を使用している施設や田畑の有無を確認。クログワイやカンガレイの植生を残すこと。